



2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月

株式会社アウトソーシング
証券コード：2427 (東証プライム市場)

- P. 3 2023年12月期 第2四半期 連結決算概要(IFRS)
- P. 10 各セグメントの概況
- P. 24 参考データ集

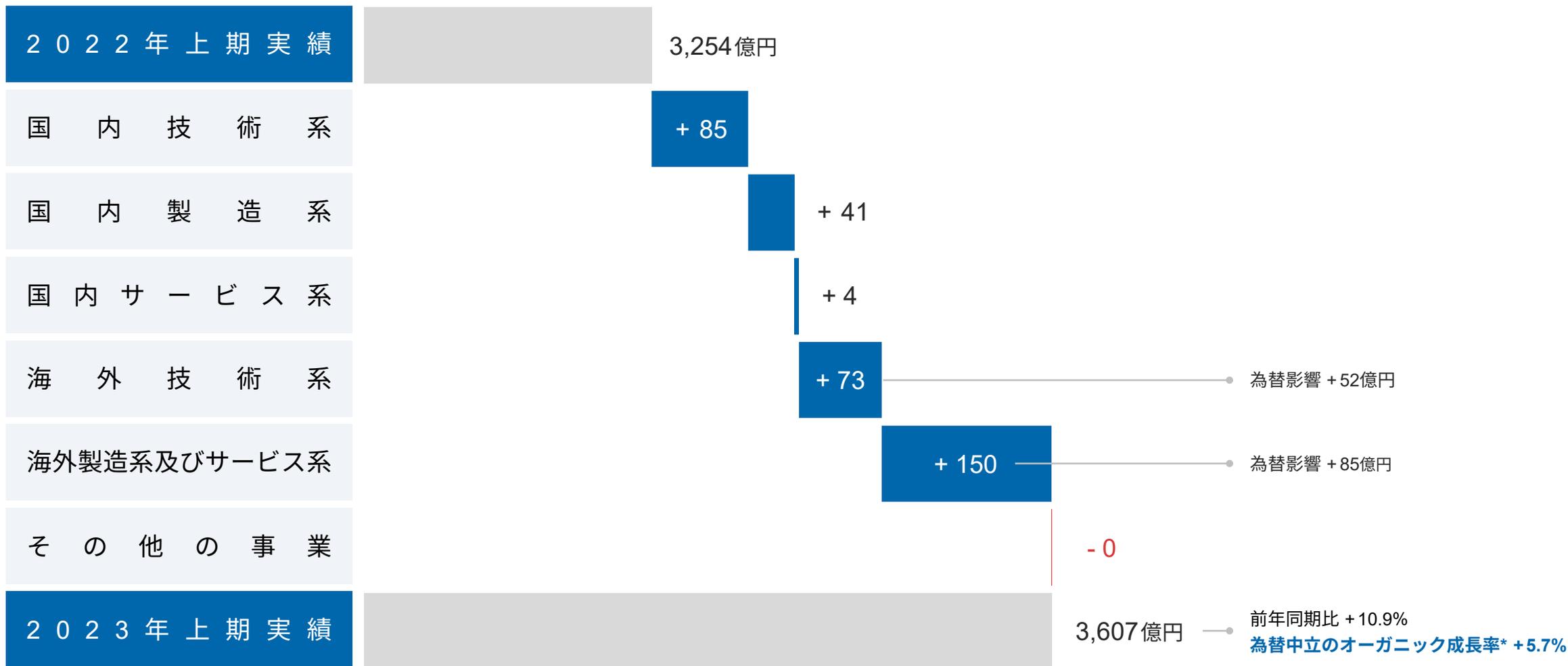
2023年12月期 第2四半期 連結決算概要(IFRS)

連結損益計算書

(億円)

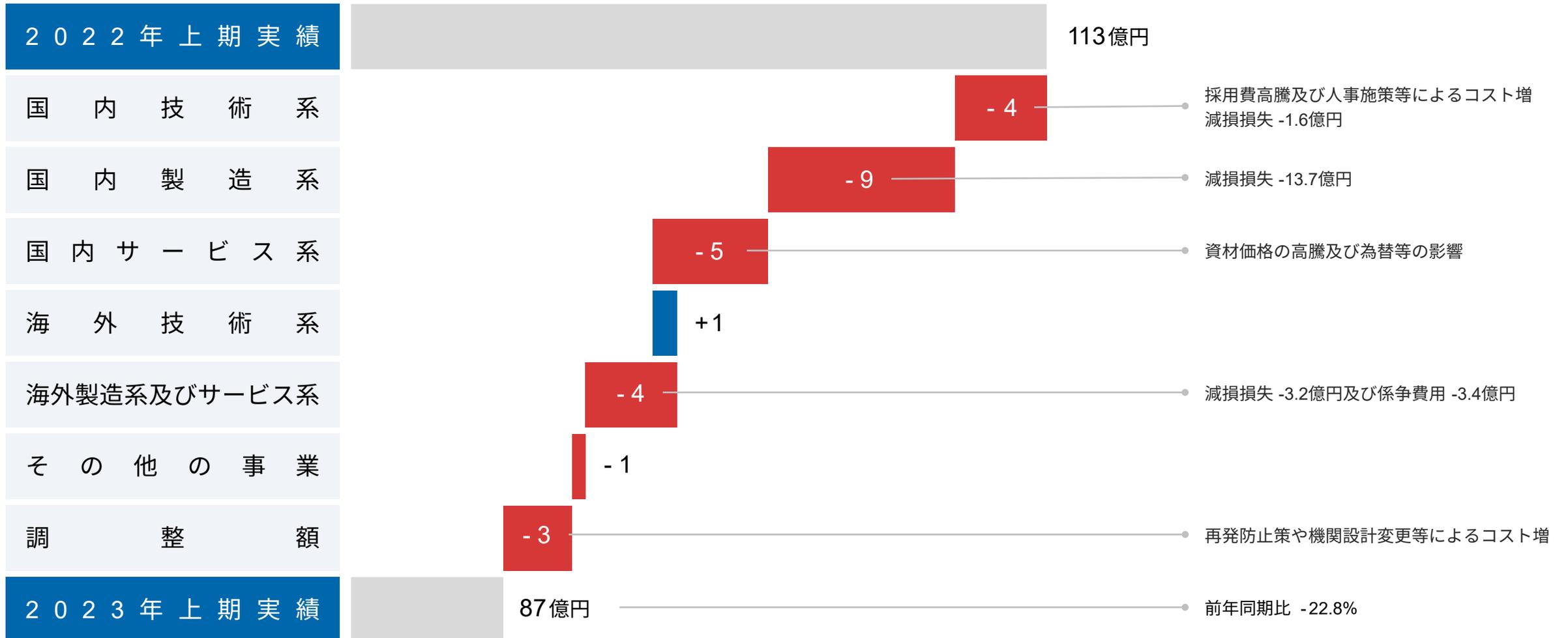
	四半期実績 (2023/04/01 ~ 2023/06/30)					累計実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)				
	前年同期	実績	前年同期比	業績予想	計画差異	前年同期	実績	前年同期比	業績予想	計画差異
売上収益	1,699	1,852	+ 9.0%	1,900	- 48	3,254	3,607	+ 10.9%	3,660	- 53
売上総利益	307	333	+ 8.3%	-	-	591	650	+ 10.0%	-	-
(売上総利益率)	18.1%	18.0%	- 0.1pt	-	-	18.2%	18.0%	- 0.2pt	-	-
販売費及び一般管理費	269	302	+ 12.2%	-	-	510	587	+ 15.2%	-	-
営業利益	52	39	- 25.4%	55	- 16	113	87	- 22.8%	105	- 18
(営業利益率)	3.1%	2.1%	- 1.0pt	2.9%	- 0.8pt	3.5%	2.4%	- 1.1pt	2.9%	- 0.5pt
税引前四半期利益	39	40	+ 1.4%	-	-	80	83	+ 3.1%	95	- 12
四半期利益	24	8	- 67.2%	-	-	44	36	- 17.8%	65	- 29
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	24	9	- 63.0%	-	-	42	36	- 13.1%	60	- 24

事業ポートフォリオの平準化により前年同期比で +10%超 の成長を実現



* オーガニック成長率は、2022年度及び2023年度の期中に買収した連結子会社の数値を除外し算出

資材価格高騰や減損損失等の影響を受け - 22.8% の減益



プットオプション費用は剥落も減損損失の影響により四半期利益が減少

(億円)

		前年同期 (2022/01/01 ~ 2022/06/30)	当期実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)	増減	主な理由など
営業利益	(億円)	113	87	- 26	
金融収益	(億円)	8	12	+ 4	為替差益：+2億円
金融費用	(億円)	41	17	- 24	プットオプション費用：-25億円
うち支払利息	(億円)	11	17	+ 6	
税引前四半期利益	(億円)	80	83	+ 3	
法人所得税費用	(億円)	37	47	+ 10	
四半期利益	(億円)	44	36	- 8	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	(億円)	42	36	- 5	
基本的1株当たり四半期利益	(円)	28.75	33.09	+ 4.34	

為替変動の影響は受けたものの前期末より大きな変化はなし

(億円)

		2022年 4Q (2022/12/31)	2023年 2Q末 (2023/06/30)	増減	主な理由など
総資産	(億円)	4,019	4,392	+ 373	
流動資産	(億円)	1,953	2,197	+ 243	営業債権及びその他の債権等による増加
現金及び現金同等物	(億円)	533	612	+ 79	
非流動資産	(億円)	2,066	2,195	+ 130	
のれん	(億円)	922	978	+ 56	為替影響+78億円
負債	(億円)	3,227	3,467	+ 239	
社債及び借入金	(億円)	1,306	1,433	+ 127	配当の支払及び事業資金等の借入による増加
資本合計	(億円)	792	925	+ 134	為替換算 +97億円による増加
親会社所有者帰属持分比率	(%)	18.8%	20.3%	+ 1.5pt	
のれん／資本合計比率	(倍)	1.5	1.4	- 0.2pt	

新規M&Aの抑制によりFCFがプラスに転換

(億円)

	前期 (2022/01/01 ~ 2022/06/30)	当期実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)	増減	主な理由など
税引前当期利益	80	83	+ 3	
減価償却費及び償却費	82	96	+ 14	
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△ 82	△ 63	+ 18	
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	39	24	- 15	
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	47	39	- 9	税引前当期利益及び営業債権・債務の増減を反映
事業の取得に伴う支出	△ 272	△ 5	+ 267	M&Aによる株式の取得を反映
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 291	△ 22	+ 269	
借入金の増減額	363	102	- 262	
配当金の支払額	△ 39	△ 31	+ 8	
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	266	29	- 238	
現金及び現金同等物の期末残高	531	612	+ 81	

各セグメントの概況

(億円)	FY12/22								FY12/23									
	実績				1Q	2Q	3Q	4Q	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	
	1Q	2Q	3Q	4Q														上半期
国内技術系 アウトソーシング事業	売上収益	342	367	375	411	710	786	1,496	390	392	425	403	430	450	815	795	880	1,695
	営業利益	28	24	27	22	52	49	101	29	29	21	19	28	52	50	48	80	130
	募集費	11	12	13	12	23	25	48	12	12	15	15	15	9	27	27	25	52
	期末外勤社員数	22,085	24,571	24,662	24,713	24,571	24,713	24,713	24,900	24,779	26,900	26,407	27,100	26,800	26,900	26,407	26,800	26,800
	稼働率	96.6%	93.0%	95.7%	96.5%	94.7%	96.1%	95.4%	96.2%	96.2%	92.8%	92.4%	95.9%	96.8%	94.4%	94.2%	96.4%	95.4%
国内製造系 アウトソーシング事業	売上収益	270	307	316	331	577	647	1,224	295	306	335	312	360	385	630	618	745	1,375
	営業利益	14	14	13	28	28	41	69	7	9	17	10	26	35	24	20	61	85
	募集費	8	10	8	7	18	15	32	10	8	10	7	9	10	20	15	19	39
	期末外勤社員数	21,506	27,000	26,831	26,529	27,000	26,529	26,529	26,200	25,903	27,500	25,815	28,300	29,100	27,500	25,815	29,100	29,100
	期末委託管理人数	18,510	18,660	19,300	19,045	18,660	19,045	19,045	19,200	19,226	19,800	19,768	22,000	23,800	19,800	19,768	23,800	23,800
国内サービス系 アウトソーシング事業	売上収益	84	71	75	77	154	151	306	85	77	90	81	95	100	175	158	195	370
	営業利益	11	8	5	8	19	13	32	9	5	11	9	8	7	20	14	15	35
	期末外勤社員数	3,868	3,344	3,517	4,098	3,344	4,098	4,098	3,600	3,616	3,900	3,494	4,200	5,700	3,900	3,494	5,700	5,700
	期末受注残	275	305	356	443	305	443	443	-	464	-	480	-	-	-	480	-	-
海外技術系事業	売上収益	367	407	432	450	774	881	1,655	410	409	435	438	445	440	845	847	885	1,730
	営業利益	17	21	22	20	38	42	80	18	20	20	19	23	24	38	39	47	85
	期末外勤社員数	13,976	13,970	13,045	13,224	13,970	13,224	13,224	-	12,297	-	11,726	-	-	-	11,726	-	-
海外製造系及び サービス系事業	売上収益	491	548	574	609	1,039	1,184	2,222	580	572	615	617	650	685	1,195	1,189	1,335	2,530
	営業利益	11	12	14	9	23	23	46	15	11	15	7	29	26	30	18	55	85
	期末外勤社員数	51,455	50,080	53,776	51,138	50,080	51,138	51,138	-	47,942	-	49,422	-	-	-	49,422	-	-
調整額	営業利益	△ 21	△ 29	△ 26	△ 28	△ 50	△ 54	△ 104	△ 28	△ 26	△ 29	△ 27	△ 29	△ 29	△ 57	△ 53	△ 58	△ 115
合計	売上収益	1,555	1,699	1,772	1,879	3,254	3,650	6,904	1,760	1,755	1,900	1,852	1,980	2,060	3,660	3,607	4,040	7,700
	営業利益	61	52	55	59	113	115	228	50	49	55	39	85	115	105	87	200	305

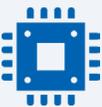
※1 表示単位 億円 (億円未満は四捨五入)

※2 売上収益のセグメント間取引は相殺消去

※3 その他の事業につきましてはFactSheetを参照ください。

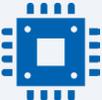
- すべての産業でエンジニアニーズの高さ継続も、**人材獲得競争の影響**を受け、売上収益は計画に未達。
- バリューアップ／離職防止を目的に**エンジニアの研修強化、配属調整**を行ったため、稼働率は計画を下回った。
- **固定資産の減損損失（1.6億円）**の影響により、営業利益は計画未達成。（減損損失の詳細はP.26参照）

	四半期実績 (2023/04/01 ~ 2023/06/30)					累計実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)				
	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異
売上収益 (億円)	367	403	+ 9.8%	425	- 22	710	795	+ 12.0%	815	- 20
営業利益 (億円)	24	19	- 23.4%	21	- 2	52	48	- 8.3%	50	- 2
営業利益率 (%)	6.6%	4.6%	- 2.0pt	4.9%	- 0.3pt	7.4%	6.0%	- 1.3pt	6.1%	- 0.1pt
期末外勤社員数 (人)	24,571	26,407	+ 7.5%	26,900	- 493	24,571	26,407	+ 7.5%	26,900	- 493
採用人数 (人)	4,140	3,504	- 15.4%	3,420	+ 84	5,842	5,002	- 14.4%	4,870	+ 132
募集費 (億円)	12	15	+ 19.2%	15	- 0	23	27	+ 15.5%	27	- 0
稼働率 (%)	93.0%	92.4%	- 0.6pt	92.8%	- 0.4pt	94.7%	94.2%	- 0.5pt	94.4%	- 0.2pt

業種	上期の売上収益	上期の概況	今後の見通し
 IT関係	 285億円 (YoY +22.6%)	<ul style="list-style-type: none"> IT人材不足とDXニーズにより需要は好調 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術を中心にマーケット拡大の見通し
 輸送用機器関係	 137億円 (YoY +3.7%)	<ul style="list-style-type: none"> R&Dは生産調整の影響少なく需要は堅調 EV、自動運転関連の需要は好調 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足も解消され、需要は今後も底堅く推移する見通し
 電気機器関係	 126億円 (YoY +8.2%)	<ul style="list-style-type: none"> PC／家電等の需要一巡も受注は好調維持 	<ul style="list-style-type: none"> メモリ市場は在庫調整で軟化の見通し その他の需要は堅調な推移を見込む
 建設・プラント関係	 112億円 (YoY +12.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 建設業界の人手不足により好需要ではあるものの人員確保に懸念あり 	<ul style="list-style-type: none"> 需要は今後も好調に推移する見通し 人手不足により人員確保に懸念
 化学・薬品関係	 68億円 (YoY +10.4%)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ影響で中断の研究開発の受注が回復 	<ul style="list-style-type: none"> 需要は今後も堅調に推移する見通し
Total セグメント全体	 795億円 (YoY +12.0%)	<ul style="list-style-type: none"> エンジニアニーズは総じて高く需要は拡大 チャージアップ・ハイレベル人材の採用が課題となる 	<ul style="list-style-type: none"> 需要は高く稼働率は高水準で推移の見通し 採用環境の厳しさは当面継続すると想定

- 自動車生産は回復基調も、半導体／電子部品の需要回復の遅れにより、売上収益は計画を割り込んだ。
- 募集費などのコスト削減も、のれん等の減損損失（13.7億円）の影響大きく、営業利益は計画に届かず。
- 電気機器関係の足もとの需要動向等を踏まえ、一時的に採用調整を行った結果、期末外勤社員数は前年同期比で減少。

	四半期実績 (2023/04/01 ~ 2023/06/30)					累計実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)				
	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異
売上収益 (億円)	307	312	+ 1.9%	335	- 23	577	618	+ 7.1%	630	- 12
営業利益 (億円)	14	10	- 26.4%	17	- 7	28	20	- 31.1%	24	- 4
営業利益率 (%)	4.5%	3.3%	- 1.3pt	5.1%	- 1.8pt	4.9%	3.2%	- 1.8pt	3.8%	- 0.6pt
期末外勤社員数 (人)	27,000	25,815	- 4.4%	27,500	- 1,685	27,000	25,815	- 4.4%	27,500	- 1,685
採用人数 (人)	4,920	3,712	- 24.6%	5,020	- 1,308	8,154	7,848	- 3.8%	8,920	- 1,072
募集費 (億円)	10	7	- 31.7%	10	- 3	18	15	- 16.8%	20	- 5
期末委託管理人数 (人)	18,660	19,768	+ 5.9%	19,800	- 32	18,660	19,768	+ 5.9%	19,800	- 32

業種	上期の売上収益	上期の概況	今後の見通し
 輸送用機器関係	 242億円 (YoY +5.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連の生産は底入れし回復基調に 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体供給先の国内シフトにより、下期から自動車生産の回復本格化を想定
 電気機器関係	 141億円 (YoY -11.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 輸出規制による半導体等の需要の鈍化 半導体在庫調整局面による影響で減収 	<ul style="list-style-type: none"> 諸外国の輸出規制やリセッション懸念から足もとは厳しい状況が続くことを想定
 化学・薬品関係	 35億円 (YoY +6.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器系はコロナ禍から徐々に需要回復 	<ul style="list-style-type: none"> 需要は今後も堅調に推移する見通し
 金属・建材関係	 35億円 (YoY +9.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 建材など住宅関連の補助金延長で受注好調 	<ul style="list-style-type: none"> 需要は今後も堅調に推移する見通し
 食品関係	 21億円 (YoY +8.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍食品などの食品メーカーからの受注増 	<ul style="list-style-type: none"> 外食産業の回復期待もあり需要は底堅い
Total セグメント全体	 618億円 (YoY +7.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産の回復を下支えに需要は堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 主力の輸送用機器関係の生産回復に伴い、2023年下期から改善の見通し

- **新型コロナ影響の解消**により、委託管理人数は2022年1Qに底打ちし、2023年より増加トレンドに入った。
- 外国人労働者の債務労働問題の解消や労働／生活環境改善など、**マーケットリーダーとして市場の健全化**に注力。
- 今後、技能実習に代わる新制度導入を機に、転職支援や日本語教育など周辺領域での**ビジネスチャンス拡大**の可能性も。

委託管理人数 (人)



外国人労働者の債務労働問題改善への取組一例

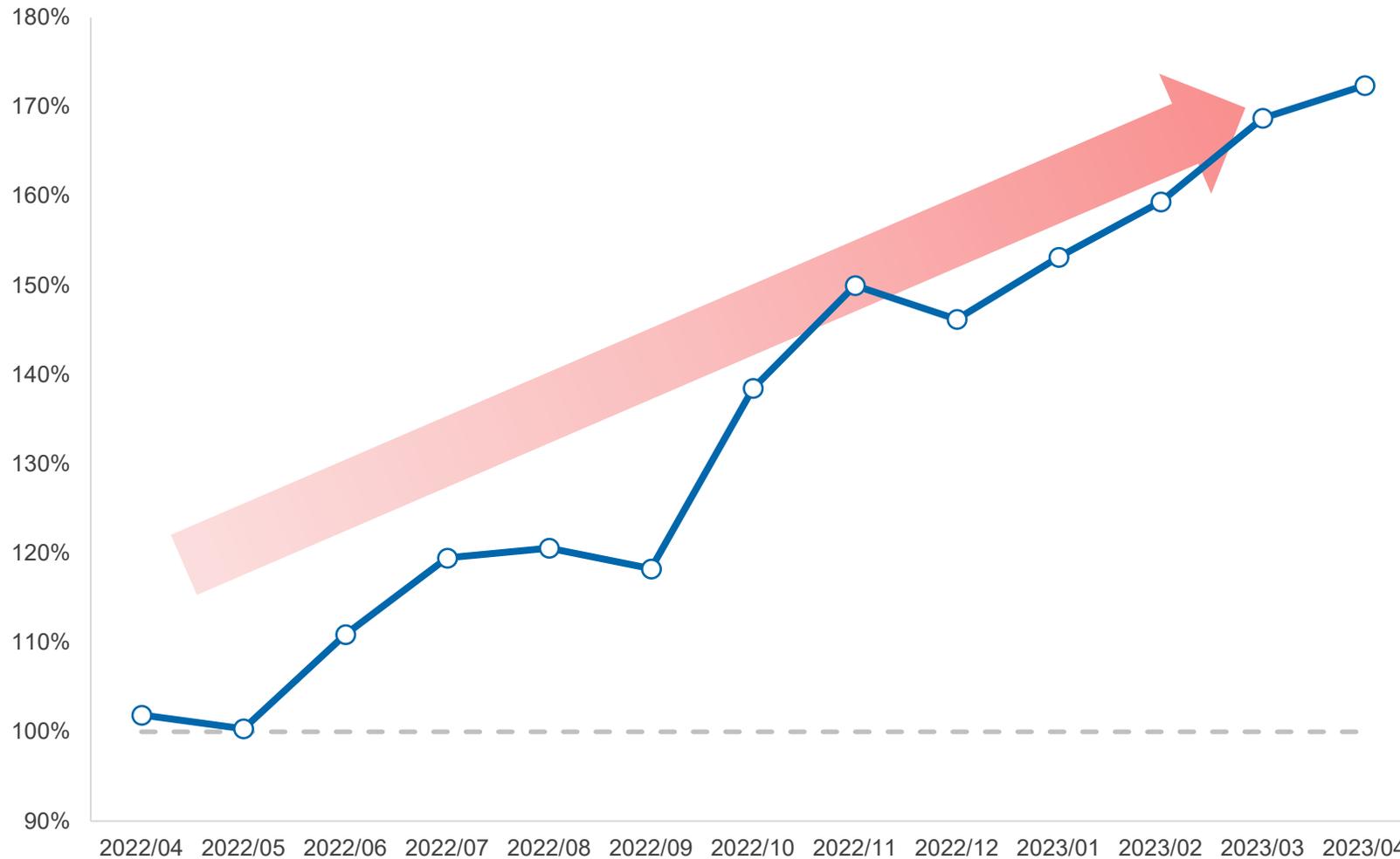


- 入国前講習費用等について、受入企業と送出機関が約50%を費用負担することで、本人の負担を軽減。
- 実習修了から2週間以内に残額を支払うことにより、外国人技能実習生の負担を解消し、債務労働問題の改善へ取り組む。

- 主力の米軍施設向け事業における **資材調達遅れ及び資材高騰の影響**により売上収益／営業利益とも計画に未達。
- 一方、**期末受注残高が過去最高を更新**するなど需要は好調で、中長期的な事業成長のポテンシャルは揺るぎないと評価。
- そのほか、経済活動の正常化に伴い、空港やホテル、テーマパークなど **インバウンド／観光関連の需要拡大**を見込む。

	四半期実績 (2023/04/01 ~ 2023/06/30)					累計実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)				
	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異
売上収益 (億円)	71	81	+ 15.4%	90	- 9	154	158	+ 2.5%	175	- 17
営業利益 (億円)	8	9	+ 4.6%	11	- 2	19	14	- 28.5%	20	- 6
営業利益率 (%)	12.1%	10.9%	- 1.1pt	12.2%	- 1.3pt	12.4%	8.6%	- 3.7pt	11.4%	- 2.8pt
期末外勤社員数 (人)	3,344	3,494	+ 4.5%	3,900	- 406	3,344	3,494	+ 4.5%	3,900	- 406
期末受注残 (億円)	305	480	+ 57.4%	-	-	305	480	+ 57.4%	-	-

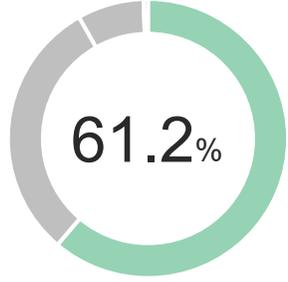
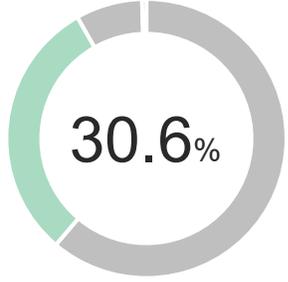
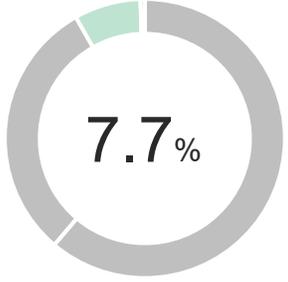
米軍施設向け事業 - 受注残高の前年同期比 (%)



受注残高は19か月連続で
前年同期比を更新

- ・ アイルランドでは、先行き不透明感から人材紹介需要は低迷も、派遣事業はヘルスケア領域を中心に堅調に推移。
- ・ オセアニアも同様に、紹介需要が鈍化したことに加えて、金融セクター等からの需要減少により計画を割り込んだ。
- ・ 英国の債権回収事業は、新型コロナの影響から回復し、債権回収の最適化／効率向上により、利益率改善を伴って成長。

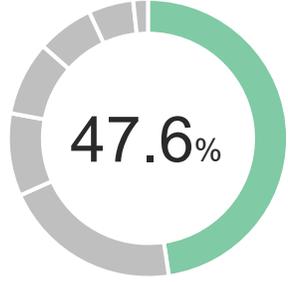
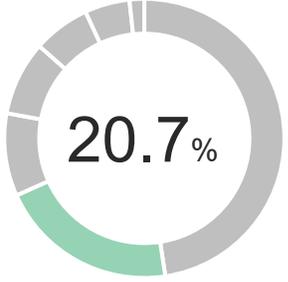
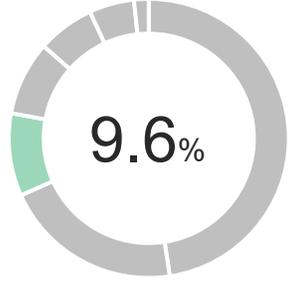
	四半期実績 (2023/04/01 ~ 2023/06/30)					累計実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)				
	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異
売上収益 (億円)	407	438	+ 7.8%	435	+ 3	774	847	+ 9.4%	845	+ 2
営業利益 (億円)	21	19	- 9.1%	20	- 1	38	39	+ 3.0%	38	+ 1
営業利益率 (%)	5.2%	4.4%	- 0.8pt	4.6%	- 0.2pt	4.9%	4.7%	- 0.3pt	4.5%	+ 0.2pt
期末外勤社員数 (人)	13,970	11,726	- 16.1%	-	-	13,970	11,726	- 16.1%	-	-
フリーランス人数 (人)	1,442	1,895	+ 31.4%	-	-	1,442	1,895	+ 31.4%	-	-

	アイルランド	オセアニア	英国
売上構成比	 <p>61.2%</p>	 <p>30.6%</p>	 <p>7.7%</p>
事業概要	CPLグループを軸に、IT／ヘルスケア／製薬業界の大手企業等に対し人材サービスを提供	政府／金融業界向けのICT分野の請負／人材サービスを中心に幅広く人材サービスを提供	AIを活用した未回収公的債権の回収代行サービスなどを展開
上期の概況	<ul style="list-style-type: none"> 派遣事業はIT大手のレイオフ影響受けるもヘルスケア等の受注拡大により堅調に推移 紹介事業はマクロ影響により前年比で減少 	<ul style="list-style-type: none"> リセッション懸念から紹介需要は減速、採鉱／教育／公共等の派遣需要は堅調に推移 間接部門の人員抑制などコスト削減に成果 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ影響で新規発行が遅れていた一部の債権の発行が進み、債権ボリュームが増加 繰越需要の顕在化により大幅な増収増益に
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 人材紹介の需要鈍化も派遣事業は安定推移が見込まれ、今後も計画線で推移の見通し 景気後退懸念等による需要鈍化の兆しがあるものの、周辺諸国での事業拡大を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介需要の減少を人材需要が堅調なセクターや収益性向上によるカバーを図る 労働市場がタイトになっており、人材確保が今後のポイントの一つ 	<ul style="list-style-type: none"> インフレ等によるコスト増を想定、賃金上昇圧力により更なるコスト増の可能性も 一方、新規債権発行の正常化が進んでいるため、今後の業績は堅調に推移する見通し

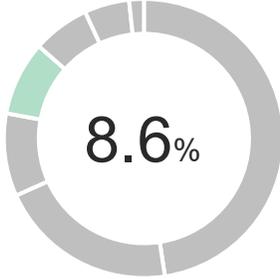
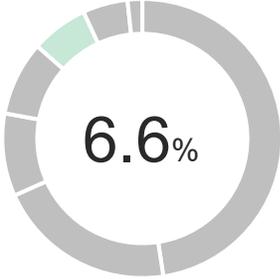
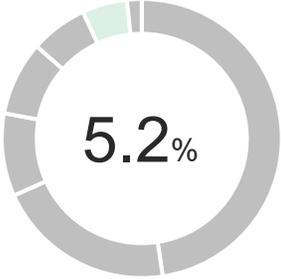
※記号は累計営業利益の達成度を示しています。 ◎：30%以上の大幅な達成，○：計画インライン，△：計画未達，×：30%以上の大幅な計画未達

- オランダのサービス系事業は、好調な物流領域におけるシェア拡大により、売上収益／営業利益ともに計画達成。
- ドイツの製造系事業は、主力の航空産業向けが好調に推移した結果、上期の業績は計画を上回った。
- 全体では、のれん等の減損損失（6.5億円）や、係争費用（3.4億円）の影響が大きく、営業利益は計画に届かず。

	四半期実績 (2023/04/01 ~ 2023/06/30)					累計実績 (2023/01/01 ~ 2023/06/30)				
	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異	前年同期	実績	前年同期比	期初計画	計画差異
売上収益 (億円)	548	617	+ 12.6%	615	+ 2	1,039	1,189	+ 14.4%	1,195	- 6
営業利益 (億円)	12	7	- 37.5%	15	- 8	23	18	- 19.3%	30	- 12
営業利益率 (%)	2.2%	1.2%	- 1.0pt	2.4%	-1.3pt	2.2%	1.5%	- 0.6pt	2.5%	- 1.0pt
期末外勤社員数 (人)	50,080	49,422	- 1.3%	-	-	50,080	49,422	- 1.3%	-	-

	オランダ	ドイツ	英国
売上構成比	 <p>47.6%</p>	 <p>20.7%</p>	 <p>9.6%</p>
事業概要	OTTOグループを中心に、大手スーパーのeコマース関連の物流業務等に人材派遣業を展開	Orizonグループを中心に、機械業界や航空機業界／医薬業界などに対し、製造派遣を展開	主に英国の中央政府や地方政府に対し、人材派遣や人材紹介／BPO事業などを展開
上期の概況	<ul style="list-style-type: none"> 消費マインドの停滞などにより、主力のeコマース向け派遣が計画を割り込んだ 需要が好調な物流領域において事業が伸長 	<ul style="list-style-type: none"> 主に航空産業向けの派遣が好調で業績寄与 年初よりOTTOドイツ拠点を傘下に加え、競争優位性を創出するための体制を構築中 	<ul style="list-style-type: none"> BPO事業の大規模案件受注やコンサル事業の好需要を取り込みにより売上規模は拡大 インフレによるコスト増の影響を受けた
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ウクライナ情勢やインフレの影響は注視も、業績は概ね計画線で推移する見通し 需要の大きい物流領域の受注拡大に注力 	<ul style="list-style-type: none"> ウクライナ情勢やインフレの影響は注視も、業績は概ね計画線で推移する見通し 支店の統廃合は今期中に完了し、来期以降の業績に寄与する見込み 	<ul style="list-style-type: none"> 契約更新時にコスト増の価格転嫁を進めるが、賃金上昇圧力等によるコスト懸念も 政府向けのBPO事業では、既存案件の更新や新規案件の獲得などに取り組む

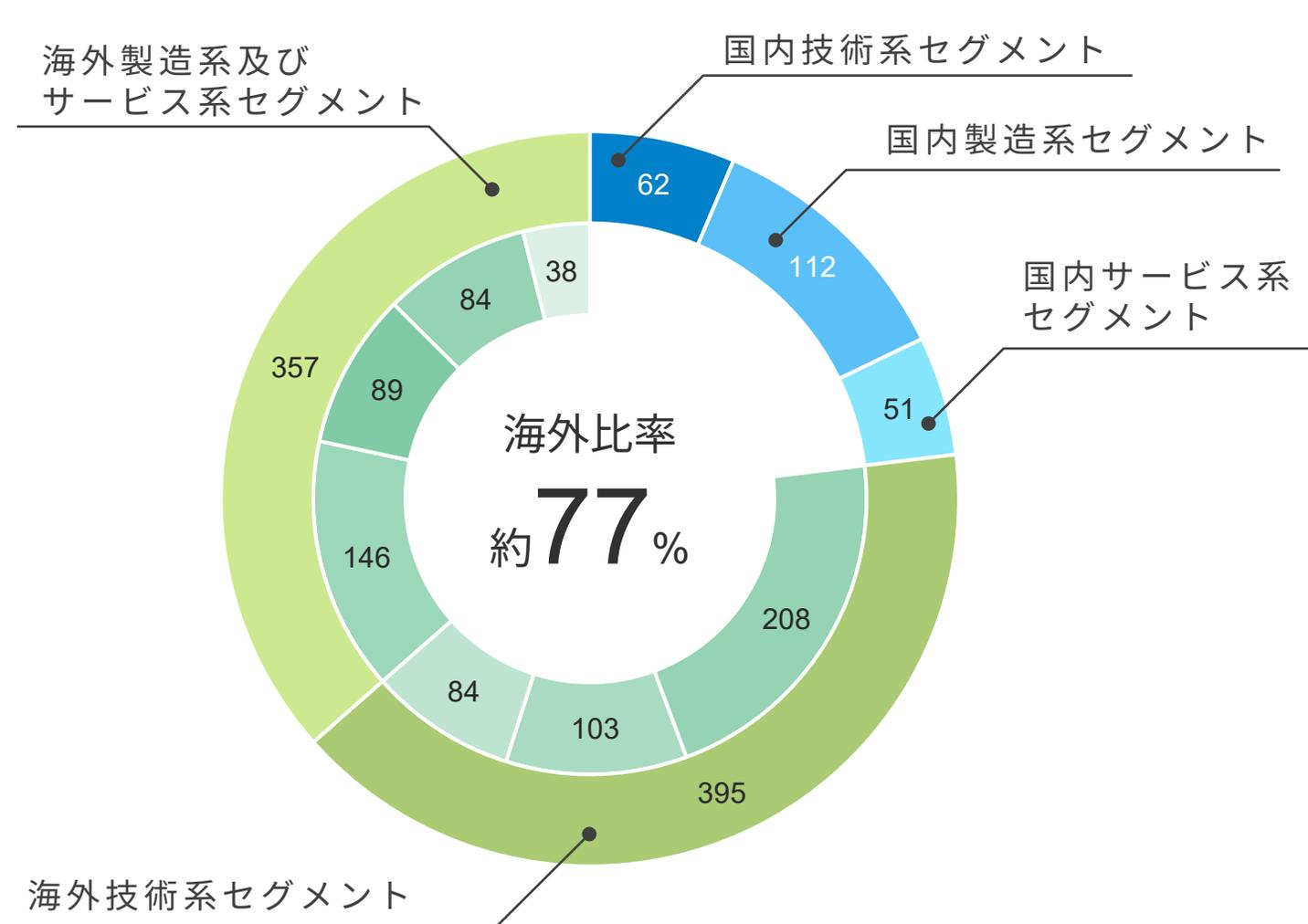
※記号は累計営業利益の達成度を示しています。 ◎：30%以上の大幅な達成，○：計画インライン，△：計画未達，×：30%以上の大幅な計画未達

	オセアニア	南米	アジア
売上構成比	 <p>8.6%</p>	 <p>6.6%</p>	 <p>5.2%</p>
事業概要	豪州政府や民間セクターを対象に、主にホワイトカラー人材の派遣／紹介事業を展開	チリやブラジルで、流通／小売業向けの派遣、清掃／警備等のファシリティ事業を展開	東南アジア各国で、人材サービス事業／ペイロール事業や、人材の送り出し事業を展開
上期の概況	<ul style="list-style-type: none"> 紹介需要一巡により派遣需要取込みに注力 利上げに伴う消費減少の影響を受けた小売／物流セクター向け派遣の需要は鈍化傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ファシリティ事業などが堅調で売上は増加 前期に判明したチリの子会社での会計処理の不備に係る一過性の係争費用で利益減に 	<ul style="list-style-type: none"> 送り出し事業は、日本で技能実習生の入国が再開されたことにより、受注が上向きに ペイロール事業は、顧客企業のIT投資意欲減退の影響を受け減収、計画に対して未達
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 紹介事業はリセッション懸念で鈍化を想定 派遣事業では、インフラ／採鉱／公共／教育など好調なセクターから受注拡大を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 係争費用が通期業績の重しになる見込み ヘルスケアなど景気変動の影響を受けにくい業種からの受注拡大・取引先の分散化へ 	<ul style="list-style-type: none"> 送り出し事業は入国規制の撤廃を背景に中長期的な受注拡大を見込む ペイロール事業は、多国籍企業のIT投資の抑制により厳しい状況が続くと想定

※記号は累計営業利益の達成度を示しています。 ◎：30%以上の大幅な達成，○：計画インライン，△：計画未達，×：30%以上の大幅な計画未達

参考データ集

セグメント別 - のれん残高一覧 (2023年2Q末時点)



※オーストラリアのHOBANは海外製造系及びサービス系事業ですが、のれんグループは OUTSOURCING OCEANIA (CLICKS, INDEX, HOBAN, OUTSOURCING OCEANIA) として認識されているため、独立させることができず、暫定的に海外技術系事業に寄せています。

(億円)

セグメント及び国・地域	のれん残高
国内技術系セグメント	62
国内製造系セグメント	112
国内サービス系セグメント	51
海外技術系セグメント	395
アイルランド	208
オセアニア	103
UK	84
その他	0
海外製造系及びサービス系セグメント	357
UK	146
オランダ	84
ドイツ	89
その他	38
連結のれん残高	978

セグメント別 - 減損損失一覧

セグメント	2022.1Q	2022.2Q	2022.3Q	2022.4Q	2023.1Q	2023.2Q	2023.3Q	2023.4Q	(億円)	
									FY2022	FY2023
国内技術系	-	-	4.1	0.1	-	1.6 ^{※1}	-	-	4.2	1.6
国内製造系	-	-	6.6	0.0	-	13.7 ^{※2}	-	-	6.6	13.7
国内サービス系	-	-	1.5	-	-	-	-	-	1.5	-
海外技術系	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海外製造系及びサービス系	5.2	3.3	7.4	0.8	-	6.5 ^{※3}	-	-	16.7	6.5
連結全体	5.2	3.3	19.6	0.9	-	21.8	-	-	29.0	21.8

当四半期における主な減損損失発生要因

- ※1 アネブル：1.6億円
次期排出ガス規制”Euro 7”の決定遅れによる、業務依頼減少
- ※2 サンキョウ・ロジ・アソシエート：7.2億円
出版業界における紙媒体等の需要減少によるもの
- ※2 アバンセコーポレーション：5.1億円、エス・エス産業：1.4億円
半導体の在庫調整局面等による請負事業の需要鈍化によるもの
- ※3 Integrity：5.9億円
米国における景気後退懸念を起因とした設備投資抑制の長期化によるもの

四半期別連結業績

(億円, %)

2023年	1Q			2Q			3Q			4Q		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上収益	1,755	100.0	+ 12.9	1,852	100.0	+ 9.0	-	-	-	-	-	-
売上総利益	317	18.1	+ 11.7	333	18.0	+ 8.3	-	-	-	-	-	-
販管費	285	16.3	+ 18.5	302	16.3	+ 12.2	-	-	-	-	-	-
営業利益	49	2.8	- 20.5	39	2.1	- 25.4	-	-	-	-	-	-
税引前四半期利益	43	2.4	+ 4.8	40	2.2	+ 1.4	-	-	-	-	-	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	27	1.6	+ 54.7	9	0.5	- 63.0	-	-	-	-	-	-

(億円, %)

2022年	1Q			2Q			3Q			4Q		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上収益	1,555	100.0	+ 25.6	1,699	100.0	+ 20.7	1,772	100.0	+ 20.2	1,879	100.0	+ 19.5
売上総利益	284	18.3	+ 21.7	307	18.1	+ 21.9	323	18.2	+ 22.7	333	17.7	+ 10.6
販管費	241	15.5	+ 18.5	269	15.8	+ 25.7	274	15.5	+ 21.7	289	15.4	+ 20.9
営業利益	61	3.9	+ 33.2	52	3.1	- 0.5	55	3.1	+ 35.8	59	3.1	- 14.7
税引前四半期利益	41	2.6	- 20.7	39	2.3	- 0.3	48	2.7	+ 626.8	50	2.7	+ 1,019.4
親会社の所有者に帰属する四半期利益	18	1.1	- 32.4	24	1.4	+ 37.2	25	1.4	- 187.3	39	2.1	- 224.6

地域別売上収益の推移

(億円, %)

2023年		1Q			2Q			3Q			4Q		
		実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
日	本	774	44.1	+ 11.1	797	43.0	+ 7.1	-	-	-	-	-	-
欧	州	728	41.6	+ 15.4	781	42.2	+ 14.1	-	-	-	-	-	-
オセア	ニア	171	9.8	+ 12.5	190	10.2	+ 1.7	-	-	-	-	-	-
北	米	9	0.5	- 20.0	11	0.6	- 2.8	-	-	-	-	-	-
南	米	38	2.2	+ 7.2	40	2.2	+ 6.9	-	-	-	-	-	-
アジア (除く、日本)		34	1.9	+ 20.9	33	1.8	- 4.0	-	-	-	-	-	-
合計		1,755	100.0	+ 12.9	1,852	100.0	+ 9.0	-	-	-	-	-	-

(億円, %)

2022年		1Q			2Q			3Q			4Q		
		実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
日	本	696	44.8	+ 21.0	745	43.8	+ 20.6	766	43.2	+ 19.3	819	43.6	+ 18.3
欧	州	631	40.6	+ 29.8	685	40.3	+ 17.9	727	41.0	+ 21.0	771	41.1	+ 21.4
オセア	ニア	152	9.8	+ 24.4	186	11.0	+ 24.0	195	11.0	+ 22.3	199	10.6	+ 20.1
北	米	11	0.7	-	12	0.7	+ 225.2	14	0.8	- 5.0	11	0.6	- 4.6
南	米	36	2.3	+ 37.8	38	2.2	+ 26.7	36	2.0	+ 12.2	39	2.1	+ 11.0
アジア (除く、日本)		28	1.8	+ 1.9	34	2.0	+ 30.2	35	2.0	+ 32.3	38	2.0	+ 23.4
合計		1,555	100.0	+ 25.5	1,699	100.0	+ 20.7	1,772	100.0	+ 20.2	1,879	100.0	+ 19.5

為替レート的前提

通貨の種類	外貨の構成比 2023年上期 売上収益	予算レート	2023年上期 実績レート*	差異
ユーロ (EUR)	64.9%	138.14	145.93	+ 7.79
豪州ドル (AUD)	17.4%	91.13	91.24	+ 0.11
ポンド (GBP)	9.0%	162.00	166.63	+ 4.63
米国ドル (USD)	1.0%	131.62	135.00	+ 3.38
その他通貨	7.7%	-	-	-

* 実績レートは、2023年1～6月期中平均レート

採用人数の推移

2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

(人)

2023年	1Q			2Q			3Q			4Q		
	実績	計画	差異	実績	計画	差異	実績	計画	差異	実績	計画	差異
国内技術系	1,498	1,450	+48	3,504	3,420	+84	-	1,530	-	-	1,050	-
国内製造系	4,136	3,900	+236	3,712	5,020	-1,308	-	4,240	-	-	4,480	-

2023年	上期			下期			通期		
	実績	計画	差異	実績	計画	差異	実績	計画	差異
国内技術系	5,002	4,870	+132	-	2,580	-	-	7,450	-
国内製造系	7,848	8,920	-1,072	-	8,720	-	-	17,640	-

国内技術系
新卒採用人数
・2022年: 約2,600名
・2023年: 約1,800名

(人)

2022年	1Q			2Q			3Q			4Q		
	実績	計画	差異									
国内技術系	1,702	2,000	-298	4,140	4,500	-360	1,314	1,920	-606	1,386	1,850	-464
国内製造系	3,234	3,380	-146	4,920	4,660	+260	3,667	3,500	+167	3,614	3,910	-296

2022年	上期			下期			通期		
	実績	計画	差異	実績	計画	差異	実績	計画	差異
国内技術系	5,842	6,500	-658	2,700	3,770	-1,070	8,542	10,270	-1,728
国内製造系	8,154	8,040	+114	7,281	7,410	-129	15,435	15,450	-15

注意事項

本資料には、当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画／予想したものです。従いまして、実際の業績等は今後、様々な要因によって計画／予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、本資料における記述は本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、その内容は事前の通知なく変更されることがあります。また、本資料に記載されている当社グループの企業情報以外の情報は、当社が公開情報等から引用したものであり、その正確性・適切性等についての検証は行っておらず、また、これらを保証するものではありません。

2022年12月期に行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、2022年12月期以降の連結財務諸表を一部遡及修正しております。また、当社グループにおける雇用調整助成金の事案を受け、2020年12月期実績より連結財務諸表を訂正しております。なお、訂正に際しては、過年度において重要性の観点から訂正を行っていなかった事項も併せて行っております。詳細につきましては、11/14付「[過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ](#)」をご覧ください。

お問い合わせ

株式会社アウトソーシング

社長室IRチーム

E-Mail: os-ir@outsourcing.co.jp

URL: <https://www.outsourcing.co.jp>

IRお問合せ: <https://www.outsourcing.co.jp/ir/contactus/>